

みずほCustomer Desk Report 2024/08/29号 (As of 2024/08/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	144.29
TKY 9:00AM	143.98	1.1175	160.97	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	145.03	1.1184	161.33	1.3254	0.6788
SYD-NY Low	143.69	1.1105	160.50	1.3260	0.6813
NY 5:00 PM	144.58	1.1120	160.79	1.3167	0.6765
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,091.42	▲ 159.08	日本2年債	0.3700%	0.0100%
NASDAQ	17,556.03	▲ 198.79	日本10年債	0.8900%	0.0100%
S&P	5,592.18	▲ 33.62	米国2年債	3.8650%	▲0.0331%
日経平均	38,371.76	83.14	米国5年債	3.6627%	0.0084%
TOPIX	2,692.12	11.32	米国10年債	3.8378%	0.0095%
シカゴ日経先物	38,170.00	▲ 125.00	独10年債	2.2530%	▲0.0250%
ロンドンFT	8,343.85	▲ 1.61	英10年債	4.0020%	0.0060%
DAX	18,782.29	100.48	豪10年債	3.9450%	0.0300%
ハンセン指数	17,692.45	▲ 182.22	USDJPY 1M Vol	12.56%	▲0.04%
上海総合	2,837.43	▲ 11.30	USDJPY 3M Vol	11.58%	▲0.04%
NY金	2,537.80	▲ 15.10	USDJPY 6M Vol	10.59%	▲0.02%
WTI	74.52	▲ 1.01	USDJPY 1M 25RR	▲1.91%	Yen Call Over
CRB指数	277.61	▲ 2.92	EURJPY 3M Vol	10.14%	▲0.07%
ドルインデックス	101.09	0.54	EURJPY 6M Vol	9.67%	0.00%

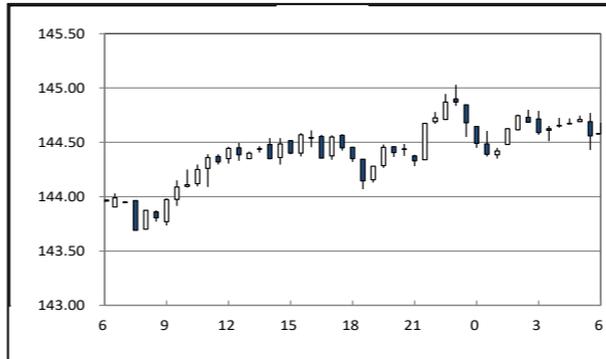
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	Event	結果	予想
8月28日	10:30	豪	CPIトリム平均値(前年比)	7月	3.8%

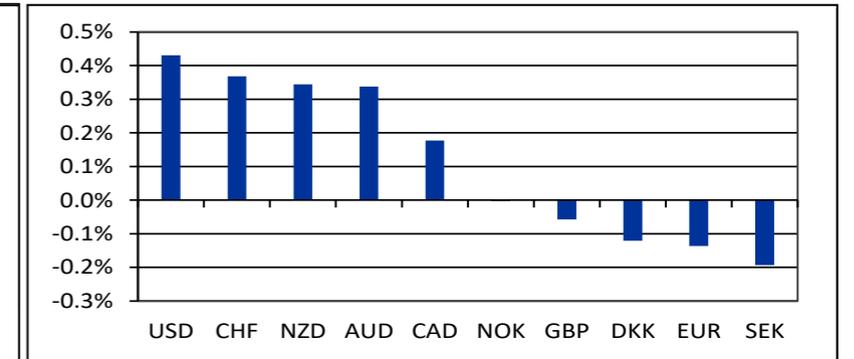
【本日の予定】

Date	Time	欧	Event	予想	前回
8月29日	18:00	欧	消費者信頼感・確報	8月	-
	18:00	欧	サービス業信頼感指数	8月	5.2
	18:00	欧	鉱工業信頼感指数	8月	-10.8
	21:00	独	CPI(前年比/前月比)・速報	8月	2.1%/0.0%
	21:30	米	GDP(年率/前期比)	2Q S	2.8%
	21:30	米	個人消費	2Q S	2.2%
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	7月	0.3%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	24-Aug	232k
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	7月	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-146.00	1.110-1.1300	159.00-163.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は143.98レベルでオープン。前日のドル安の反動からじり高の展開も、氷見野日銀副総裁による発言を受け、ドル円は伸び悩む。その後はじり高に推移し、午後に入ると米国時間に米半導体大手の決算を控え、144円台前半を中心とした推移のまま海外へ。海外時間も特段材料のない中で、この日の高値145.03円まで上昇も、その後は144円台後半を中心に方向感なく推移し、144.58でクローズ。

本日は複数の米経済指標の発表が予定されている。中でも米4~6月期GDP(確報)について、前回の速報値対下方修正となった場合には年内複数回の利下げ織り込みに影響はないものとみられるが、仮に上方修正された場合には、堅調な米経済と利下げペース鈍化が意識されることでドル買い圧力が強まりやすい状況か。市場では来週金曜日の米雇用統計を見極めたいとの思惑から様子見ムードが強く、値幅は出にくいものと考えられるが、市場予想と乖離する良好な指標結果であった場合の値動きには警戒したい。本日もドル円は神経質な展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は143.98レベルでオープン。前日のドル安の反動から、じり高の展開に。氷見野副総裁の発言を受けてドル円は一時下落も、その後は朝からの流れを引き継ぎ上昇。午後に入ると米国時間に米半導体大手の決算を控える中、144円台前半でもみ合い。結局144.57レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.57レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局144.34レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は143円台後半でスタート。クロス円の上昇を横目に、ドル円も連れ高となり、144.60付近まで上昇。しかし、その後は氷見野日銀副総裁が「経済・物価見通しの確度が高まれば、金融緩和度合いを調整する」との見方を受け伸び悩み、144.34レベルでNYオープン。本日は材料難の中、午前中は145.03まで買われる場面もあったが、その後は上昇していた米金利が低下する動きを受け、144.35まで反落。午後に発表された低調な米5年債の入札結果を受け、144.80付近まで再度上昇するも、その後再び伸び悩み、144.58レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.11台後半でスタート。独金利の低下が重しとなり、じり安で推移し、1.1121レベルでNYオープン。午前中は1.1137まで戻す場面も見られたが、買い戻しは長く続かず、1.1110付近まで下落。午後は1.1105まで値を下げ、その後は下げ渋り小幅反発し、1.1120レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。